

| 教科 | 課題（現状、傾向、課題分析） | 改善プラン（改善のための具体策や取組） | 成果(○)と課題(△) |
|----|---|--|-------------|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもって工夫して話したり、聴いたりすることに課題がある。 ・自分の考えを整理して、文章に表すことに課題がある。 ・新出漢字の習得に個人差がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話型を提示し、話す活動に慣れるようにする。 ・国語の学習や帰りの会等、短い時間で話す活動をする。 ・自分の書いた文章を読み直し、再考する時間を設ける。 ・全校朝会での校長先生のお話を要約し、自分の考えを書く。 ・ペア等の少人数での意見を交換する場を多く設ける。 ・けやきタイムを利用して、既習内容の復習をする。 ・間違いやすい漢字を抽出し、小テストを繰り返す。 | |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料から、適切な情報を読み取ることに課題がある。 ・情報の整理の仕方に課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グラフや写真資料等を、ICT機器を活用して効果的にとらえられるようにする。 ・図やグラフの読み方を全体で確認する。 ・ペアや少人数で分かったことや考えたことを報告し合う時間を設ける。 ・モデルとなるノートを紹介するとともに教室に掲示する。また、即時評価し、よさを児童に伝える。 ・単元の学習後に、心に残った学習内容を短い文章ではがき新聞にまとめる活動を取り入れる。 ・調べたことや分かったことを短い文章で表現する活動を行う。 | |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章題において、演算決定に課題がある。 ・自分の考えを説明することに課題がある。 ・数量感覚を身に付ける必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章題の言葉に注目させ、分かっている内容や問われている内容を色分けして区別する。 ・問題内容を整理するために、具体物や図、数直線を使って考えるよう促す。 ・演算決定までの過程を、板書に整理する。 ・ペア等の少人数での意見を交換する場を多く設ける。 ・友達のことを、自分の言葉で紹介するよう促す。 ・算数的活動の中で具体物を操作して理解できるようにする。 | |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・実験、観察結果から考察することに課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・根拠をもって予想を立てることができるよう、既習内容を教室等に掲示する。 ・結果を基に、学習のめあてを達成することができるよう、考察を促す。 | |

| | | | |
|----------|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察に、受動的に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習後に、心に残った学習内容を短い文章ではがき新聞にまとめる活動を取り入れる。 ・児童にとって身近な話題から学習をはじめ、学習の必要感がもてるようにする。 ・ペアや少人数で実験方法を考える時間を設ける。 | |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動の行い方に課題がある。 ・「できる」「できない」で運動を判断し、深い思考につながっていない。 ・ゲームで勝敗にこだわってしまう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・図や映像資料等を、ICT機器を活用して分かりやすく示し、運動の行い方を確実にとらえられるようにする。 ・体育ノートに、運動を行って「気付いた点」「疑問点」「友達のよさ」を記入することで、学習を振り返ることができるようにする。次時に紹介し、課題等を共有させる。 ・技能ポイントを紹介する。 ・一人一人にめあてをもたせ、段階をふんで課題解決ができるようにする。 ・ペアや少人数で作戦を考えさせたり、その結果を振り返らせたりする時間を設ける。 ・肯定的な言葉掛けを例示する。 ・個人やチーム等の課題解決を考えることを中心に取り組む。 ・相手の立場に立って考えることや、礼儀の大切さを考えることを促す。 | |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱については、楽譜がうまく読めない児童も意欲的に活動をしている。 ・地の声と歌の声が歌い分けられない児童がいる。 ・新しくリコーダーが楽器に加わり、どの児童も姿勢や持ち方など気を付けながら演奏をしている。すぐに持ち方や吹き方を忘れて左手で持ったりタンギングができなかったりする児童がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な2部合唱や輪唱などを通して全体に自分の声を溶け込ませる活動を取り入れる。 ・机間巡視をして、個別指導を何度もする。 ・ペア学習を通してお互いを見合い、良いところや直した方が良いところを意見交換する活動を設ける。 | |
| 図画 工作 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動に見通しがもてない。 ・途中までつくったけれど自分の思い通りにならないとあきらめがちである。 ・既習事項を生かして表現できていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導者や友達と考えながらつくる。手順を細かく分けて考えるよう指導する。 ・計画的な造形体験を積みせ、技能の定着を図る。 ・表したいものに応じて経験した技法を選択できるようにする。 | |

